



地域で活躍する看護職の研究とケアラー支援の研修

看護学科

林 裕栄 教授

【研究分野】 在宅ケア学、家族看護学、老年看護学

【キーワード】 訪問看護、在宅ケア、介護者、家族

【URL】

<https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=121haya>

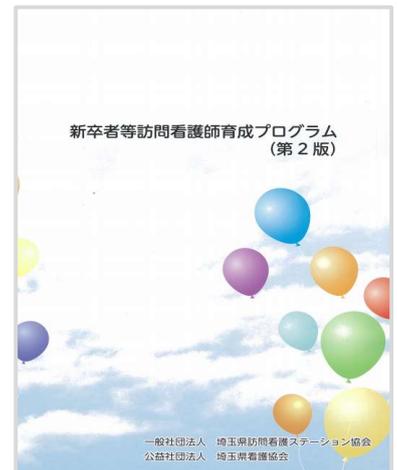


研究概要

訪問看護や在宅ケアに関する専門職側や介護を行っているケアラー側、双方からの視点で研究をしてきました。現在は、地域包括ケアの中核を担う訪問看護師へのキャリア支援に向けたプログラム開発を現場の方々と共に進めています。加えて精神障害者の地域生活支援に向けての事例検討会や、ケアラーの概念を広く地域社会に普及するための支援を行います。

研究紹介

- 1.訪問看護師のキャリア支援プログラムの開発
キャリアラダーとそれに伴う研修体系の構築について、埼玉県訪問看護ステーション協会との共同研究中。
- 2.特別養護老人ホームで働く看護職員の人材育成と課題
埼玉県看護協会看護師職能Ⅱ委員と共同研究中。
- 3.精神科アウトリーチに関する研究
主に埼玉県内の地域ケアを行う精神保健・医療・福祉職や家族会の皆さんと共に事例検討会を定期的で開催。それをもとに支援技術、地域連携について検討し県内の精神保健・医療・福祉の質の向上を目指している。



講座テーマ紹介

- 介護者（ケアラー）支援、家族看護についての一般向けおよび専門職者向けの講義
- 訪問看護師や施設看護師のキャリア支援研修



アピールポイントなど

近年では、専門職だけでなく非専門職との連携や当事者の力が注目されています。高齢者や障がいを持つ人の支援や、ケアラーの支援をとおして、住み慣れた地域でどんな人でも、その人なりの暮らしを送ることができるような地域づくりを目指して研究活動を行っています。

委員実績：埼玉県看護職員確保委員会委員・埼玉県訪問看護推進検討委員会委員・埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議委員・埼玉県越谷市開発審査委員・埼玉県訪問看護ステーション協会顧問・埼玉県看護協会看護師職能Ⅱ委員 など。